

退官記念講義

私の歩んだ看護の道

The path of nursing that I walked

後閑容子 Yoko Gokan

摂南大学看護学部開学時から2017年度まで学部長として、さらに2016年度からは看護学研究科長として、教育と研究さらに学部・大学運営に長きにわたりご尽力された後閑容子先生の最終講義が、2018年7月17日（火）4限目に、摂南大学枚方キャンパス メディックスホールにて行われました。

「私の歩んだ看護の道」というテーマで看護学部の1年生の「キャリア入門」授業科目の1コマとして行われた最終講義は、学部学生その他、看護学部や大学院の卒業生や学部教職員合わせて約130名が出席しました。後閑容子先生のこれまでの看護専門職として歩みを通して、職業への情熱と深い愛情が伝わる内容で、後進達が今後、看護職としてのキャリアの幅を広げるための示唆に富む講義であったと、多くの出席者の感想から伺えました。その内容を講義資料の掲載により、本誌にてご紹介いたします。

保健師の活動
過去、現在、そして、これから

2018年7月17日
後閑容子

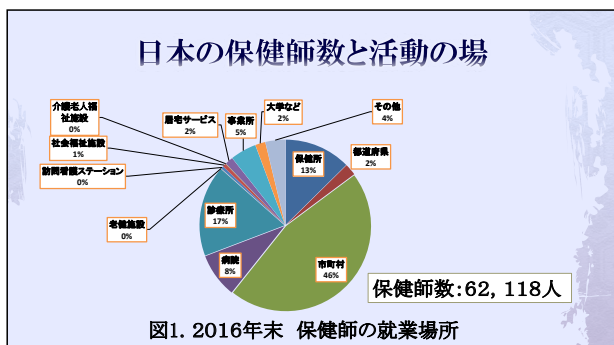
保健師とは？

- ◆ 保健師助産師看護師法第2条、この法律において「保健師」とは、**厚生労働大臣の免許**を受けて、**保健師の名称**を用いて、**保健指導に従事**することを業とする者をいう。

国家資格

保健師の名称を用いる
= 保健師と名乗ること

保健師は保健指導を業務とする、でも保健指導は他の職種も行う業務である



保健師のルーツは？

- ◆ 保健師を英語で表現すると、Public health nurse と言う。
- ◆ 保健師の活動を英語では、Public health nursing と言う。

↑

この意味は何でしょうか？
誰が、いつごろ、どのような経緯で、この言葉を言ったのでしょうか

「公衆衛生看護学(Public Health Nursing)」
言葉の意味

Public + Health + Nursing

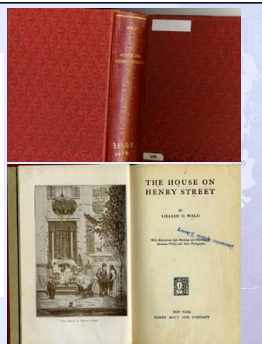
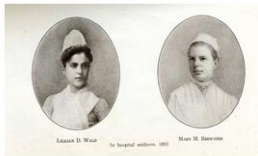
Lilian Wald はその実践活動に基づいて
主要な言葉を使った

どのような実践活動
か？

訪問看護から始まった公衆衛生看護

Lilian Wald は友人とともに、1893年New York
Henry Street Settlement で看護活動を開始した。
結核患者の家庭訪問、乳幼児と母親への保健指導
など

Lillian Waldと友人



米国の訪問看護の歴史

英国から米国の各地に広がった訪問看護

- ◆ 1887年: The Women's Board of New York City, Bellevue病院で教育を受けたNurseによる貧困者への家庭訪問
- ◆ 1886年: Philadelphia
- ◆ 1886年: Boston
- ◆ 1889年: Chicago

- ◆ Lilian とMaryは、Henry street に住む病気の人や移民に対して、行政から補助を得て訪問看護を始めた。
- ◆ 健康問題の解決には、まず経済的な問題の解決が必要であり、それには公的な扶助や地域の人々の協力が必要と考えた。
- ◆ ウォールドは行政や地域住民に働きかけて公的支援を得ることに成功し、さらに地域の協力者を組織化して、予防的看護活動を展開した。

個別の看護から地域全体に拡大した看護

- ◆ 個人・家族の看護から個人の努力では解決できない問題を知る
- ↓
- ◆ Communityの力で解決
- ↓
- ◆ Public の問題として行政や社会での問題解決のために支援

Public + Health + Nursing

- ◆ Public : 公衆
- ◆ Health : 健康、衛生
- ◆ Nursing : 看護

コミュニティーと健康

- ◆ 生活し活動しているコミュニティーはわれわれの健康や幸福すべてに深く影響を及ぼす。
- ◆ 喫煙の健康への悪影響
健康への影響、社会では禁煙の規則、自動販売機の禁止等。
非喫煙者の健康保護、
地域における心・肺疾患の減少を目指した取り組み

- ◆ コミュニティーを、人々の集合体として捉え、それは、お互いに関心を持ち、共通の関心を持ったり、共同体として共通の認識を形成したり、同属意識を形成しているということを意味する。人々の社会で、そこには、町の住民として共通の権利を有したり、農場のように共通の関心をもっていたり、刑務所のように同じ法律や規則の下に生活していたりということがある。ほかにもコミュニティーには、認識、価値観、基準、コミュニケーション、関心や関係性などが共通しているということもある。
- ◆ **3つのタイプのコミュニティー**の枠組みを理解することによって地域保健活動への関連が理解できる；地理的な概念、共通の関心、健康問題。

地域的広がり、絆や同族意識、インターネット

ウインスロウによる公衆衛生の定義

- ◆ 公衆衛生は科学であり芸術である、それは、疾病予防、寿命の延伸、健康と能力の増進などを行うことであり、これらは以下のようなことを通して実現する、すなわち、環境衛生や、感染症管理、個人衛生に関する人々への教育、疾病の早期診断や予防的治療に関する組織化された医学と看護活動、健康を保持するためすべての人が標準的な生活を適切に送れるような保証をする社会保障制度の展開などである。そこで、すべての市民が生まれながらにもつ健康と寿命に関する権利が実現化するように、これら恩恵を組織化することが必要である

- ◆ 公衆衛生を「地域の人々が健康でいられるような環境を社会が達成できるような活動、これらには、公衆の健康を予防、確認、脅かすものに対抗するようなコミュニティーの活動を組織化することである。」

- ◆ 地域保健とは、地理的な広がりとしての地域のニーズの同定、その地域の集団の健康を保護し改善することである。コミュニティーの保健上のニーズに対応して地域保健活動は行われる。
- ◆ **公衆衛生の一部としての地域保健活動**は、時に誤解されることがある。保健医療専門職でさえ、時として、地域保健活動を限定的に捉えることがある、例えば、ごみ処理計画、貧困地域のクリニック、感染症予防の大掛かりなキャンペーンなどである。これらは以前から広く行われているものの一部であり、地域保健活動は、もっと多くのことを意味している。

日本の公衆衛生看護活動の歴史

- ◆ 昭和年代の1930年ころから始まった
- ◆ 東京、大阪

* 明治年代に、訪問看護の歴史があるのは、欧米の看護の歴史と共通する

大阪・東京で始まった公衆衛生看護の活動

大阪市小児保健所 大阪朝日新聞社社会事業団公衆衛生訪問補活動 聖路加公衆衛生看護活動

- ◆ 1930年(昭和15年)：大阪朝日新聞社社会事業団公衆衛生訪問婦協会
 地域全体の保健に関するあらゆる問題
 疾病の看護、早期治療のすすめ、社会復帰、衛生教育、健康相談、医療費や生活費に関する社会事業活動
 子ども会、料理講習会など
- ◆ 保良せき
 ヘンリーストリートの活動から

これらの活動は、保健婦規則へと繋がり、その実績は、第2次世界大戦後の保健師助産師看護師規則へと繋がった

保健師の資格を残した戦後の政策

- ◆ 現在の保健師助産師看護師法 1948年(昭和23年)制定
 保健師、助産師、看護師のそれぞれの資格を規定した

オルト看護課長(連合指令軍の公衆衛生局)
 保健師、助産師、看護師の資格を統一する案からそれぞれを法律で定めることになった。

「りんごとみかんとバナナは形や味は違っても、どれも果物である」
 保健師、助産師、看護師は名称や実践活動は異なっても、どれも看護である、という意味。

➡ 保健師の国家資格は世界でも珍しい。Nurseで統一

保健所法の時代

(昭和12年保健所法, 昭和16年保健婦規則)
 昭和22年: 保健所法(現在の地域保健法)
 昭和24年: 「保健婦業務の指導指針」(1949年)保健婦資質の向上と保健婦指導体制、保健所長による指導(活動実態の把握、指導)、月1回の管内保健婦の研修会
 昭和35年: 保健婦の配置、保健所の型(U,UR,R,L)とその活動
 昭和50年: 保健婦の活動(活動内容、活動の支援、連携調整等)
 昭和51年: 市町村母子保健事業の推進、市町村母子保健事業実施要綱
 昭和53年: 市町村保健センターの整備について
 昭和53年: 国民健康保険の保健婦が市町村へ身分移管
 昭和58年: 老人保健法(予防活動)

昭和30年代、40年代

- ◆ 乳幼児死亡率、妊産婦死亡率と母子保健センターの設立
保健師と助産師との連携
- ◆ 死亡率と対策の図
- ◆ 結核から始まった全戸訪問と精神障害者と家族支援
- ◆ 東村の保健師
- ◆ 結核の死亡率の高さから

保健師助産師看護師法による保健師の教育
昭和28年から全国的に開始

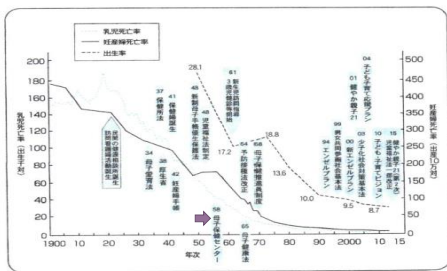


図1-1-7 乳児死亡率・妊産婦死亡率と母子保健の取組み

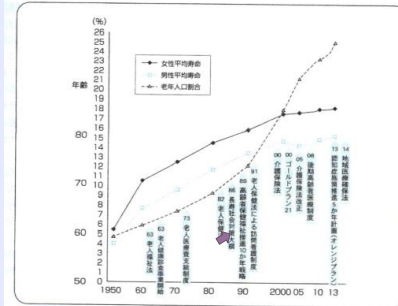
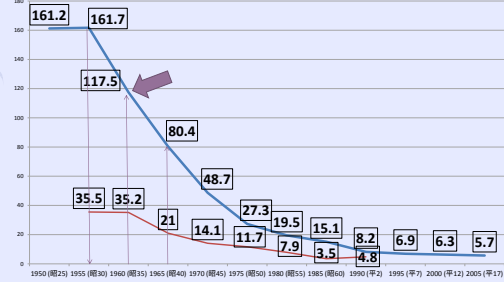
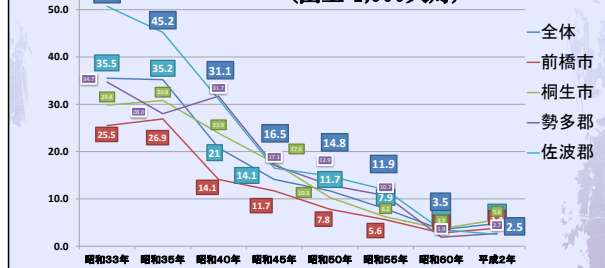


図1-1-8 老年人口割合、平均寿命の推移と高齢者割合の取組み

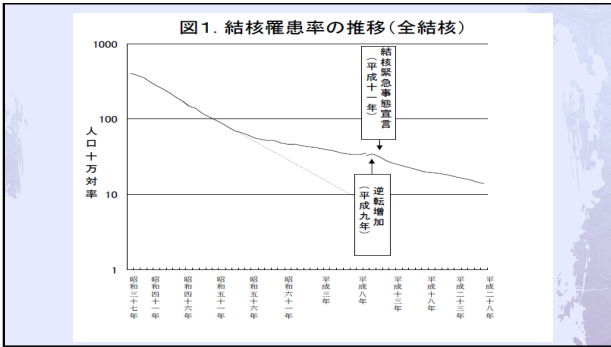
妊産婦死亡率と乳児死亡率の推移(全国)



乳児死亡率の推移(出生1,000人対)



年	結核死亡率(人口10万対)	結核死因順位
1955年(昭和30年)	52.3	5位 脳血管、悪性新生物、老衰
1960年(昭和35年)	34.2	7位 脳血管、悪性新生物、心疾患
1965年(昭和40年)	22.8	7位 脳血管、悪性新生物、心疾患
1970年(昭和45年)	15.4	8位 脳血管、悪性新生物、心疾患
1975年(昭和50年)	9.5	10位 脳血管、悪性新生物、心疾患
2010年(平成22年)	1.7	24位 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患
2016年(平成28年)	1.5	28位 悪性新生物、心疾患、肺炎



昭和30年、40年代の公衆衛生看護活動の実践例から

- ◆群馬県東村の保健師活動: 結核検診から始まった精神保健活動、家族会の誕生への支援、国保10割給付、患者・家族相談会の継続
- ◆農山村の母子保健活動: 母子保健センターによる母子保健産婦1週間の休養、乳幼児健康診査の受診率は98%
笠懸村: 昭和41年出生数116人
村内母子健康センターで110人出生

昭和40年代、50年代 私の体験から

- ◆ 社会の動向から
- ◆ 乳幼児と母親支援の地区組織育成 前橋市の一地区での試み(保健所保健師として)
母子愛育会会員の乳幼児健診への参加(母親への話しかけから始まる)
地区の母子への関心と支援への啓発、きっかけづくり
- ◆ 農協検診の結果を全員に返す、説明会と個別指導の実施
成人病予防特に脳卒中
循環器病検診
- ◆ 上野村での検診事業 上野村の統計、保健所の活動
- ◆ 結核患者、精神疾患患者、小児心身障害児、乳幼児と妊婦、
検診(乳幼児)成人病検診、僻地巡回検診、予防接種
- ◆ 活動の形: 当時、担当地域をもって、その地区診断をして、地区の健康問題を把握する、検診、訪問、健康教育

年	結核死亡率(人口10万対)	結核死因順位
1955年(昭和30年)	52.3	5位 脳血管、悪性新生物、老衰
1960年(昭和35年)	34.2	7位 脳血管、悪性新生物、心疾患
1965年(昭和40年)	22.8	7位 脳血管、悪性新生物、心疾患
1970年(昭和45年)	15.4	8位 脳血管、悪性新生物、心疾患
1975年(昭和50年)	9.5	10位 脳血管、悪性新生物、心疾患
2010年(平成22年)	1.7	24位 悪性新生物、心疾患、脳血管疾患
2016年(平成28年)	1.5	28位 悪性新生物、心疾患、肺炎

成人病予防の重要性を認識

保健婦雑誌に掲載された母子保健の課題

多くの問題は今もある

図1 農山村に生じた母と子の関係(昭和40年代末〜50年代前半) 農山村の保健婦(アノニム)の調査結果より作成

昭和60年代、そして平成へ

地域保健法の時代

平成 6年 地域保健法
 平成 6年 地域保健対策の推進に関する基本的な指針
 平成 9年 介護保険法
 平成10年 地域保健対策の推進に関する基本的な指針改正
 平成14年 健康増進法
 平成14年 保健師助産師看護師法改正
 平成20年 後期高齢者医療制度、医療制度の改革

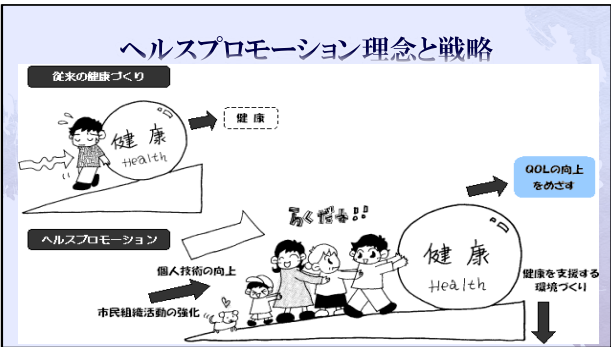
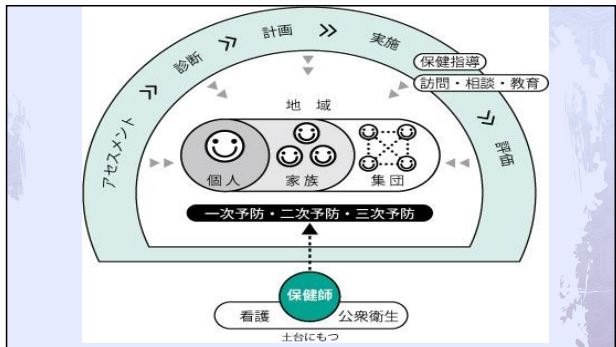
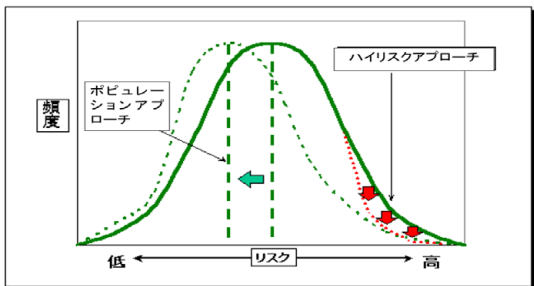


図1 ハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチの関係



保健師教育の現場から見た保健師の活動

- ◆ 保健師教育としての特徴:人口1万人の地区を教育活動の実践の場として活動した経験。
 学生は常に実践活動、教員も実践活動を行う経験を有する地区の家族構成、その健康状態を把握したファイル
 家族単位の健康管理
 保健師から情報提供の依頼(入学前検診の時など)
 地域の人々との強固な連携(健康への啓発活動、地域の人々は教育へ協力をしているという誇りももつ)

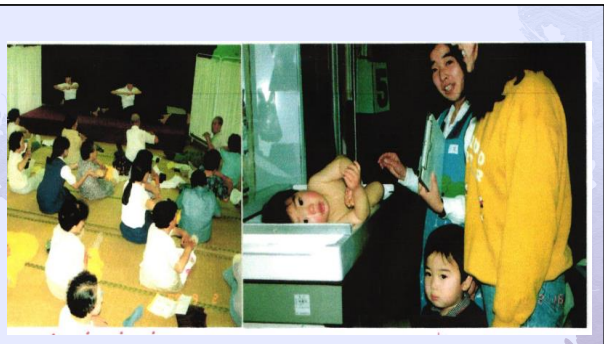
家庭内で危険なところは？



保健推進委員さんも参加



保健師学生による家庭訪問
こんにちは赤ちゃん





これからの保健師活動に期待する ヘルスプロモーション理念と戦略

従来の健康づくり
ヘルスプロモーション
個人行動の向上
市民意識の向上
健康を享受する
健康づくり
QOLの向上
生活の質

介護予防のための地域ボランティア養成と活動支援

高齢でも夢遊できる「まちかんぽ」
リーダー養成～住民主体の継続実践につなげる
介護予防勉強会「インストラクター養成～自治市内のりハビリ力
まちかんぽネットワーク～継続実践とさらなる普及を目指して

乳幼児健診と母親自助グループ支援

乳幼児健診と母親自助グループ支援
心療内科で子育てアンケートに付きまとい、問題(母親)で母親さんの悩
み解決を支援します。
母の時間を活用して、近所シニア健診(高齢)の悩みをのりまわらるる健診
センターが健診のグループに入り、子育てが楽しくなると、親子の離れ合い
について相談します。
雑誌「保健師ジャーナル」から

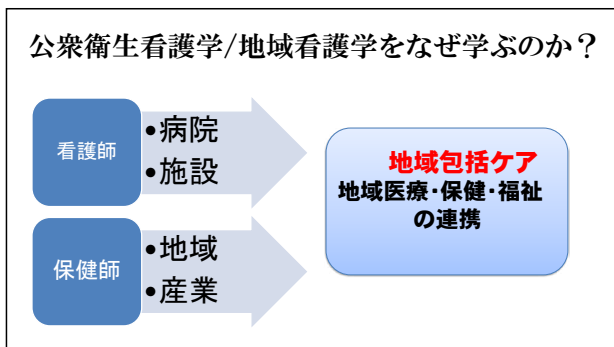
心療内科で子育てアンケートに付きまとい、問題(母親)で母親さんの悩
み解決を支援します。
母の時間を活用して、近所シニア健診(高齢)の悩みをのりまわらるる健診
センターが健診のグループに入り、子育てが楽しくなると、親子の離れ合い
について相談します。

訪問看護師による在宅ホスピスケア

シートルホスピスの患者と看護師

看護師は地域を知らなくていいの？

- ・ 病院に入院する人たちは、
今まで、そして退院後、どのような生活するの？
- ・ 病院以外での看護師の活躍の場は？



公衆衛生看護: 変わらないもの、そして新しいもの

- ◆ 公衆衛生看護活動として
 - 変わらないもの: 人々の健康に視点を、人々の自助、共助
Public health
看護活動である
Nursing
 - 変わるもの: **社会の変化**に対応した**活動の内容と方法**
 - 新しいもの: インターネットによる保健指導
多文化共生の時代; 多様な価値観、多様な文化
高齢社会

公衆衛生看護として

- ◆ 成果は一朝一夕に把握できない、今している活動がどのような目標なり、何を求めているのか、疑問に思えることがある。そんな時に、勇気づけられた言葉
- ◆ 公衆衛生の先輩から言われて、印象に残る言葉

「**公衆衛生は見返りを求めない無償の愛の活動**」
- ◆ 私は、結核の患者の訪問に行った経験から、実践活動をとおして思い起こす言葉です。

